



公明党

長田 忠広



第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

○介護の予防

問 「高齢者のちよっとした困りごと支援事業」について、令和2年第2回定例会の答弁では「第8期においても、サービスの充実や改善などを図ってまいりたいと考えます。」とあった。

そこで、どのようにサービスの充実や改善を図っていくか伺う。

介護福祉課長 新たに8期計画において、生活支援体制整備事業の充実のため、生活支援コーディネーター、高齢者を支える関係者で構成される協議体と一緒に、支え合いの地域づくりの検討を行っていききたいと考えます。

問 元気高齢者の社会参加の促進として「介護ボランティアポイント事業」を導入してはどうか伺う。

介護福祉課長 平成29年度から社会福祉協議会で開始しているボランティア登録制度が実績を上げてきているので、市としては、その制度を育成、支援したいと考えます。

○社会の共生

問 高齢夫婦世帯、高齢単身世帯の推移を見ると、平成2年と比較すると、25年間で高齢単身世帯と高齢夫婦世帯の合計は約5倍に増加している。

そこで、町内会や市民団体などに参加を声がけし、高齢者等の見守り協力機関をさらに拡大してはどうか伺う。

安心して暮らせるまちを

介護福祉課長 これまでの見守り協定締結機関と協力機関の協力をいただきながら、さらに町内会、それから民間の事業所等に広く協力を呼びかけて、地域全体で見守りを行う体制づくりに努めたいと考えます。

問 高齢者家族の孤立防止等を目的に「三世帯同居近居住宅支援事業」を創設してはどうか伺う。

市長 できれば近くに住んでもらいたいと思います。そういうのが安心につながると思います。これからも(二世帯同居近居住宅支援事業)注意深く見ていきたいと思

います。

○認知症の対策

問 認知症は重症化する前の早期に診断することで、適切な医療や介護に結び付けることができる。

そこで、早期発見・早期診断のこれまでの取組と今後の方向性を伺う。

介護福祉課長 認知症の早期発見のために、認知症チェックリストを広報や認知症ケアパス等で周知を図ってきたところです。

今後、さらに地域の集いの場に出向き、認知症の正しい知識の普及啓発に努めながら、認知症チェックリストの活用と認知症初期集中支援チーム等との連携で、早期診断、早期対応に取り組んでいきます。

問 認知症の方に優しい地域づくりの推進のため、昨年の第2回定例会で提案した「チームオレンジ」を早期設置してはどうか伺う。

介護福祉課長 地域の中で支え合っていくことが大切ですので、早期の設置を目指します。また、(チームオレンジ)のメンバーの構成など、チームの立ち上げに必要となることなど、情報を収集して、早期発見という方向で研究を進めたいと思います。

○安全・安心・快適な暮らしの実現

問 以前も質問した項目だが、消費者被害・特殊詐欺の被害防止のため、自動通話録音機能を貸与してはどうか伺う。

健康福祉部長 機器の貸与については、岩沼警察署からの要望等もありまして、3年度から生活環境課の地域安全防犯事業で市民向けに特殊詐欺等対策電話の貸与を予定しています。

◎その他の会派代表質問
・新型コロナウイルス感染症対策
・防災対策

会派所属議員
長田忠広、高梨明美

